

# 景況感 4期連続悪化

## 製造業原材料高の長期化影響

日銀が14日発表した12月の全国企業短期経済観測調査(短観)は、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)

が大企業製造業でプラス7と、前回9月調査のプラス8から1割悪化しまし

た。原材料価格上昇の長期化で仕入れ価格が高騰して業種の一部は小幅に改善していることなどが影響し、4

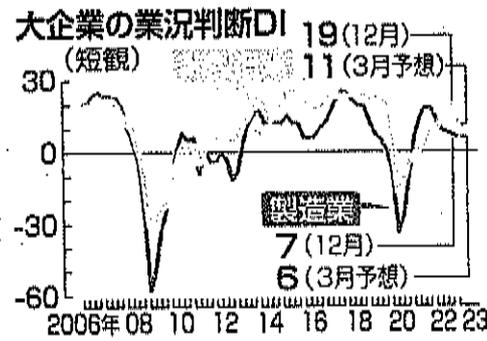
四半期連続の悪化となりました。大企業非製造業はプラス19と5割上昇し、3期連続の改善となりました。

### ↓関連③面

DIは業況が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」を引いて算出します。

大企業製造業は、資源価格の高騰と円安により原料の輸入価格が上昇したことに加え、市況の変動もあ

って化学や石油・石炭製品など素材業種の悪化が自立しました。半導体不足など



が和らぎ、自動車など加工業種の一部は小幅に改善しました。

大企業非製造業は、新型コロナウイルス対策の水際規制緩和や観光支援策の効果で、宿泊・飲食サービスや対個人サービス、小売業

中小企業製造業のDIはマイナス2と4期ぶりに改善、非製造業はプラス6と3期連続で向上しました。

先行きについては、大企業製造業は1割悪化のプラス6、非製造業は8割悪化のプラス11を見込みます。